

沖縄県

第12回県民意識調査

くらしについての アンケート結果

概要版

(令和6年9月調査)

- 沖縄県では、県民の皆さんの意識や価値観、ニーズ等の変化の状況を把握し、県政運営に役立てるため、昭和54年から概ね3年又は5年ごとに、県民意識調査を行っています。
- 今回は直近2回と同じく、「**県民意識調査(本調査)**」に加えて、離島住民のみを対象とした「**離島住民特別調査(離島調査)**」を行いました。
- 調査では、その時々々の社会事情等を考慮した質問を設けており、今回の調査では、「こどもまんなか社会」、「SDGs」に関する質問を設けています。

※調査設計等の概要は、最終ページをご覧ください。

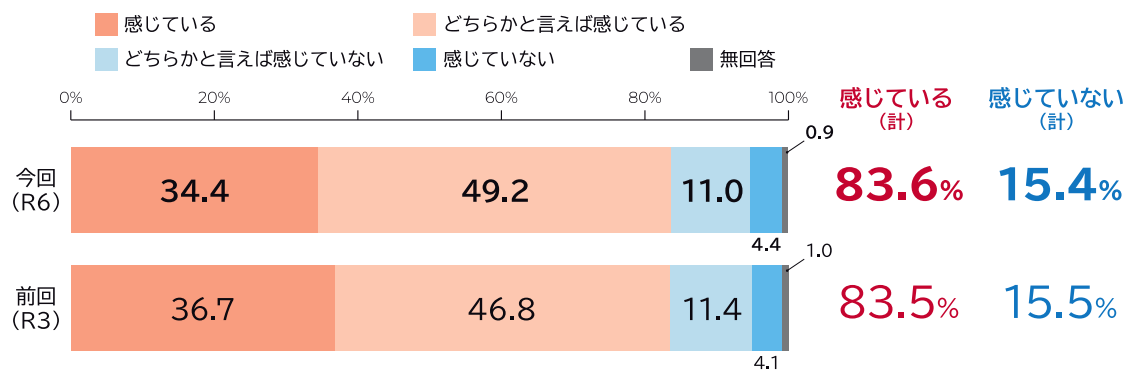
※次のページからの図表などでは、県民意識調査を「本調査」、離島住民特別調査を「離島調査」と表示しています。

県民の自己像

幸せ感

ー今、「幸せ」だと感じていますか？ー

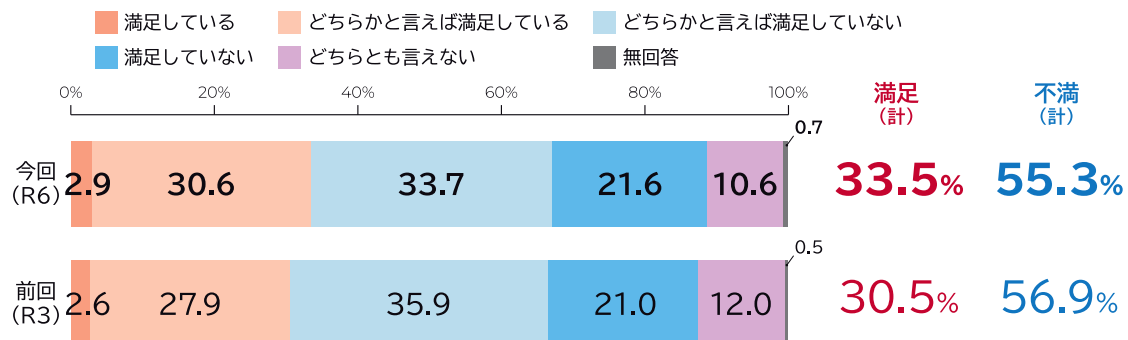
- ✓ 幸せを「感じている」「どちらかと言えば感じている」の割合の合計は 83.6%と、前回調査と同程度となっています。



社会に対する満足度

ー現在の社会に全体として満足していますか？ー

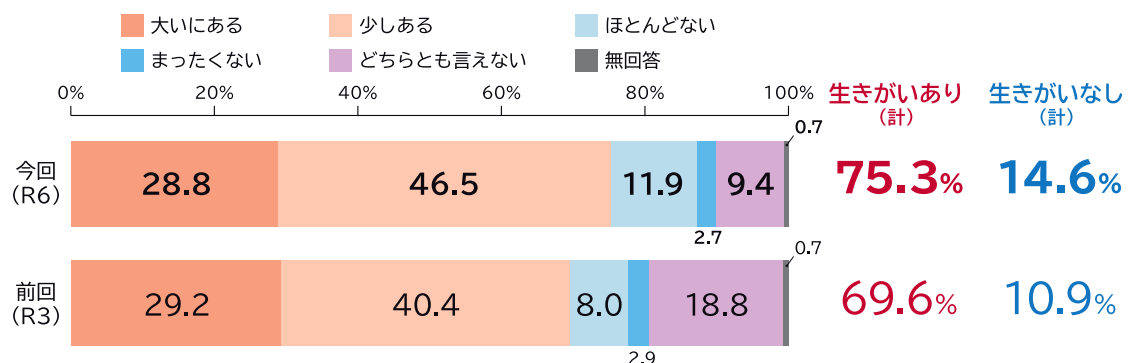
- ✓ 現在の社会について「満足していない」「どちらかと言えば満足していない」の割合の合計は 55.3%となっています。前回調査と比較して「満足している」「どちらかと言えば満足している」の割合の合計は3ポイント増えています。



生きがい

ー「生きがい」にしていることはありますか？ー

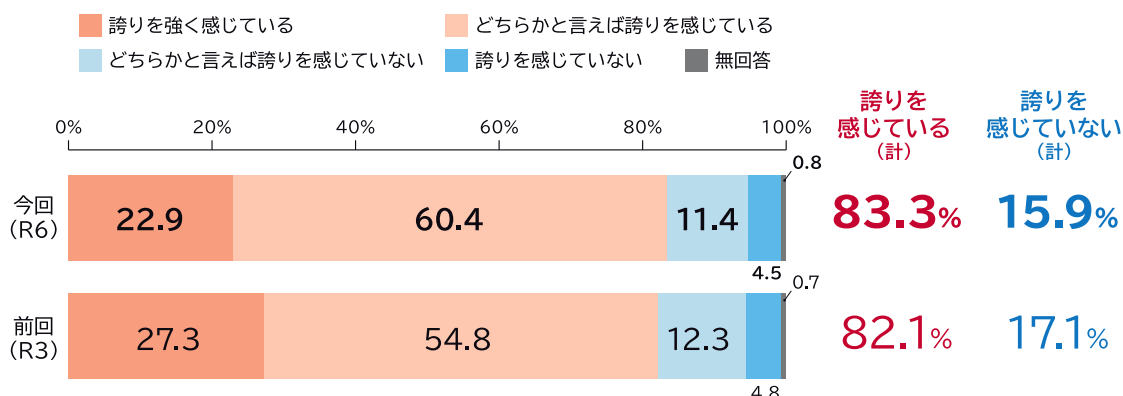
- ✓ 生きがいについて、「大いにある」「少しある」の割合の合計は 75.3%と、前回調査よりも 5.7ポイント高まっています。



沖縄県への誇り

－沖縄県に誇りを感じますか？－

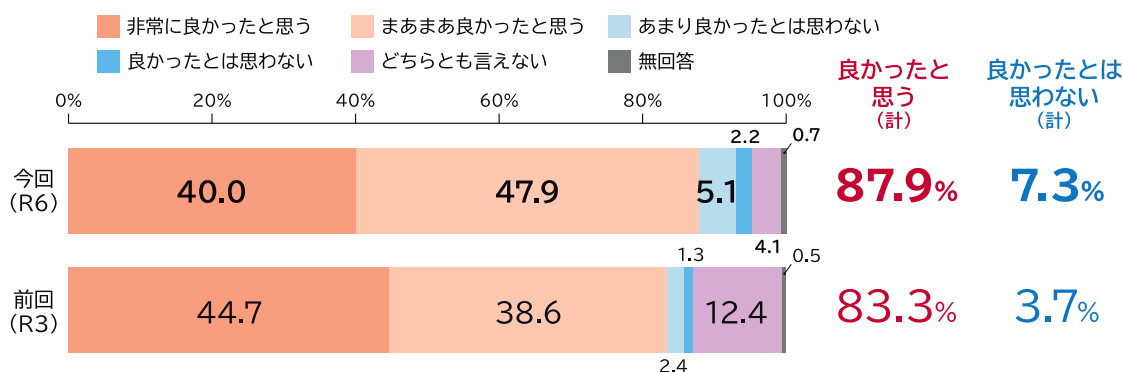
- ✓ 沖縄県に「誇りを強く感じている」「どちらかと言えば誇りを感じている」の割合の合計は 83.3%と、前回調査と同程度となっています。



沖縄県に生まれて良かったか

－沖縄県に生まれ、あるいは生活できて良かったと思いますか？－

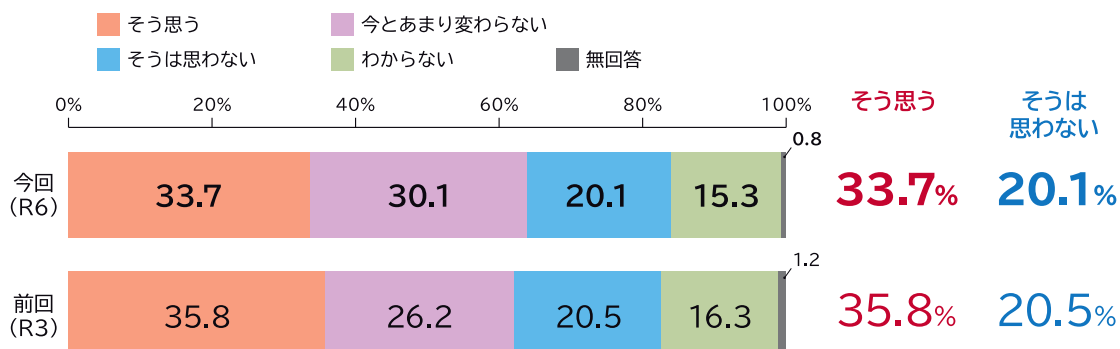
- ✓ 沖縄県に生まれ、あるいは生活できて「非常に良かったと思う」「まあまあ良かったと思う」の割合の合計は 87.9%となっています。



20年先の沖縄

－20年先の沖縄は現在よりも発展し、輝いていると思いますか？－

- ✓ 20年先の沖縄が現在よりも発展し、輝いていると思う(「そう思う」)の割合は、33.7%と最も高く、次いで「今とあまり変わらない」となっています。前回調査と比べて「今とあまり変わらない」の割合が、3.9ポイント増えています。

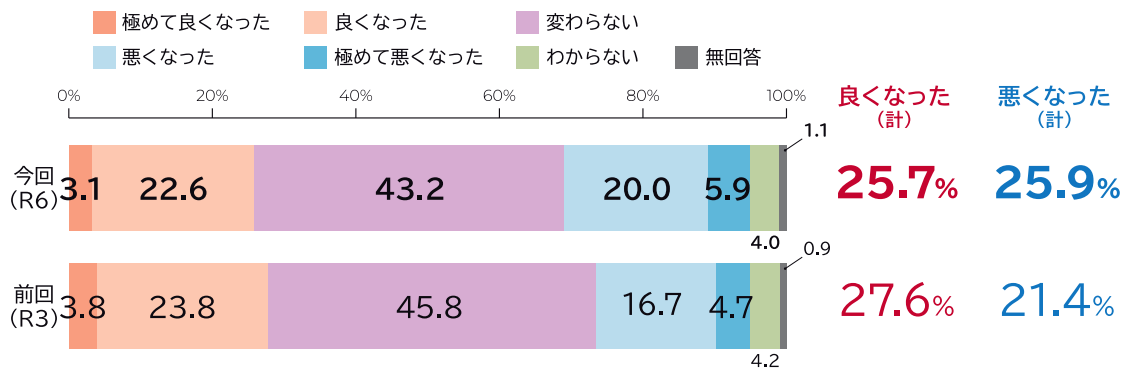


生活状態（くらしむき）

生活状態の変化

—生活状態（くらしむき）は、4、5年前に比べてどうですか？—

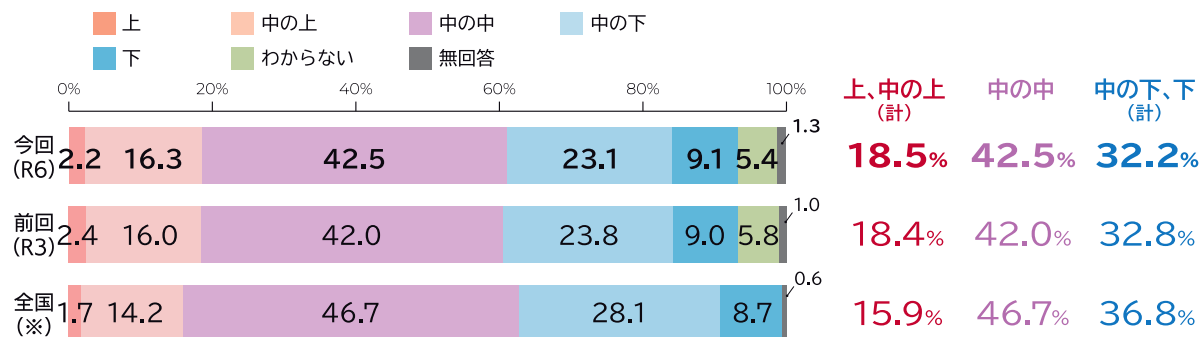
- ✓ 「変わらない」は、43.2%と最も割合が高くなっています。前回調査と比べて「悪くなった」「極めて悪くなった」の割合の合計は、4.5ポイント増加しています。



現在の生活状態

—現在の生活状態（くらしむき）は、一般的にみて次のどれにあたると感じますか？—

- ✓ 「中の中」の割合が 42.5%と最も高く、前回調査と同程度となっています。なお、全国と比べると、「上」と「中の上」を合わせた割合は 2.6ポイント高く、「中の下」と「下」を合わせた割合は 4.6ポイント低くなっています。

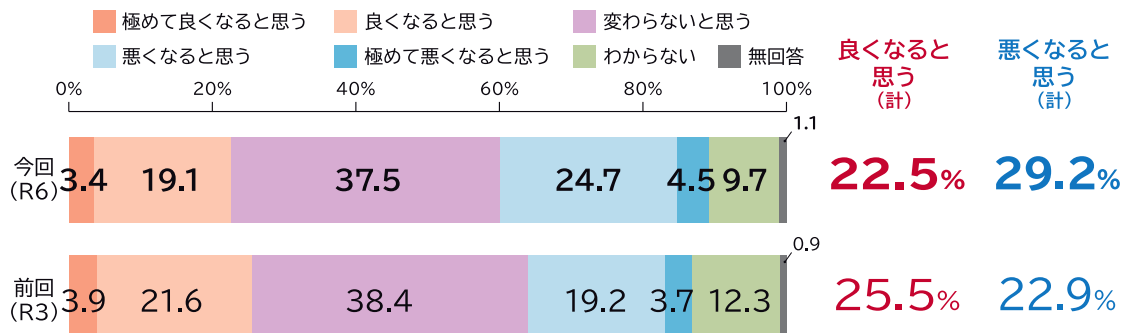


(※) 全国の調査結果は、内閣府「国民生活に関する世論調査」（令和6年8月調査）

生活状態の見通し

—生活状態（くらしむき）は、今後はどうなると思いますか？—

- ✓ 前回調査と比べて、「悪くなると思う」と「極めて悪くなると思う」の割合の合計は、6.3ポイント増加しています。



生活に関する事柄の重要度・充足度

県民の日常生活に必要な事柄を78項目に整理して、「重要度」と「充足度（満足度）」を6段階評価で質問。

生活に関する事柄の重要度

－次にあげる事柄(78項目)は、あなたの今の暮らしにとってどのくらい重要ですか？－

- ✓ 今の暮らしにとって重要な事柄は、「安心して家庭で水が使える」「老後に不安のない年金が得られる」をはじめとした安心・安全な生活基盤や、医療に関すること、年金等の収入に関すること、物価に関することなどが上位にあがっています。
- ✓ 平成27年度調査と比べて重要度が高まった項目は、インターネットの接続環境、目的地までの円滑な移動などです。

重要度※ 上位10項目 ※「非常に重要である」の割合

(%)

順位	項目	今回 [令和6年]		令和3年		平成30年		平成27年
1位	安心して家庭で水が使える	84.4	←	83.5 (1位)	←	80.1 (1位)	↗	79.2 (2位)
2位	老後に不安のない年金が得られる	78.4	↗	77.4 (4位)	←	74.5 (4位)	↙	80.2 (1位)
3位	犯罪がない安心なくらしの確保	78.3	←	78.1 (3位)	↙	76.3 (2位)	↗	79.1 (3位)
4位	救急患者が適切な治療を受けられる	77.7	↙	79.8 (2位)	↗	75.5 (3位)	↗	74.4 (4位)
5位	下水道が整備されている	75.5	↗	74.3 (6位)	↗	69.1 (7位)	↗	67.4 (10位)
6位	良質な医療が受けられる	75.4	↙	75.6 (5位)	←	71.9 (5位)	↗	72.3 (7位)
7位	費用の心配なく、医療を受けられる	73.9	←	73.4 (7位)	↙	70.7 (6位)	↙	73.7 (5位)
8位	物価が安定している	73.0	↗	64.2 (17位)	←	62.4 (17位)	←	65.5 (17位)
9位	収入が着実に増える	72.2	↗	66.7 (14位)	↙	65.2 (10位)	↙	68.0 (8位)
10位	少年の非行や犯罪が少なくなる	71.1	↙	69.6 (8位)	←	68.0 (8位)	↙	73.7 (5位)

(注)矢印は、順位の上昇・下降を表している

重要度の割合が高まった項目

[平成27年]から[非常に重要である]の伸びが **+5ポイント以上の項目(全9項目)**

快適にインターネットにつながる	+19.6ポイント	(R6:46.4%←H27:26.8%)
目的地まで円滑に移動できる	+10.0ポイント	(R6:60.6%←H27:50.6%)
下水道が整備されている	+8.1ポイント	(R6:75.5%←H27:67.4%)
物価が安定している	+7.5ポイント	(R6:73.0%←H27:65.5%)
生活に必要な施設がある	+6.7ポイント	(R6:60.3%←H27:53.6%)

<上位6位以下の項目>

- 住環境が良好
- イライラやストレスなど精神的緊張が少ない
- 安心して家庭で水が使える
- 公共交通機関が利用しやすい

生活に関する事柄の充足度

一次にあげる事柄(78 項目)について、今それぞれがどのくらい満たされていますか？

- 生活に関する事柄は、「安心して家庭で水が使える」、「下水道が整備されている」、「生活に必要な施設がある」の順で充足度の割合が高くなっており、これらの上位 3 項目は過去 3 回の調査と同じです。
- 平成 27 年度調査と比べて充足度が高まった項目は、医療や就労、健康の相談に関することなどです。

充足度※ 上位10項目 ※「非常に満たされている」+「ある程度満たされている」の割合

(%)

順位	項目	今回 [令和6年]	令和3年	平成30年	平成27年
1位	安心して家庭で水が使える	73.1	77.7 (1位)	78.5 (1位)	80.3 (1位)
2位	下水道が整備されている	67.4	67.5 (2位)	64.9 (2位)	68.2 (2位)
3位	生活に必要な施設がある	59.3	62.9 (3位)	56.7 (3位)	58.1 (3位)
4位	住環境が良好	54.8	55.5 (4位)	48.9 (4位)	50.5 (4位)
5位	公園や親しめる自然などがまわりにある	51.2	50.5 (7位)	45.8 (8位)	46.3 (6位)
6位	食の安全・安心が確保されている	51.0	52.9 (5位)	47.7 (5位)	45.6 (8位)
7位	犯罪がない安心なくらしの確保	50.4	51.2 (6位)	47.1 (7位)	45.9 (7位)
8位	豊かな自然が保全されている	50.2	48.1 (9位)	47.2 (6位)	47.6 (5位)
9位	商品等の品質等が確保されている	49.8	50.3 (8位)	45.0 (9位)	44.3 (9位)
10位	良質な医療が受けられる	48.8	45.4 (10位)	39.2 (13位)	43.4 (12位)
	健康診断、健康の相談が受けやすい	48.8	43.2 (12位)	40.7 (11位)	41.2 (15位)

(注)矢印は、順位の上昇・下降を表している

充足度の割合が高まった項目

[平成27年]から[満たされている]の伸びが **+5ポイント以上**の項目(全14項目)

費用の心配なく、医療を受けられる	+9.5 ポイント	(R6:37.8%←H27:28.3%)
失業の不安がなく働ける	+9.1 ポイント	(R6:28.6%←H27:19.5%)
仕事と生活が両立しやすい職場環境	+9.0 ポイント	(R6:31.0%←H27:22.0%)
近くで希望する仕事につける	+7.9 ポイント	(R6:30.5%←H27:22.6%)
健康診断、健康の相談が受けやすい	+7.6 ポイント	(R6:48.8%←H27:41.2%)

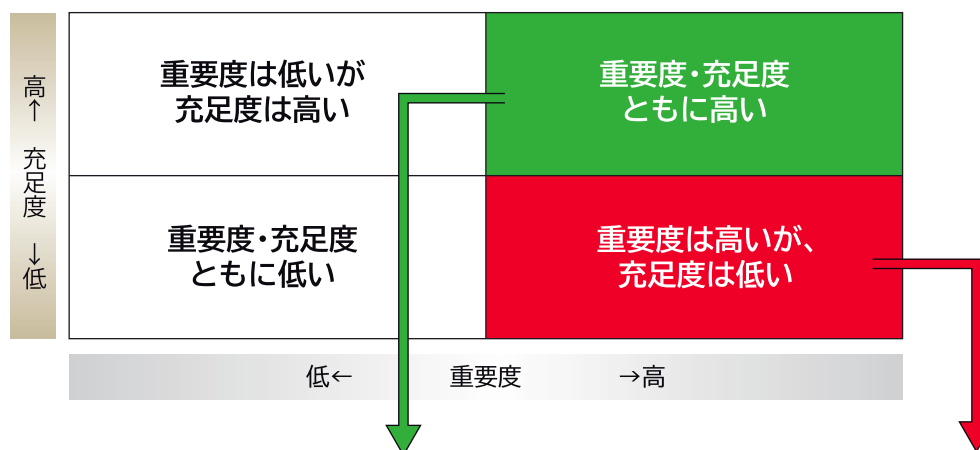
<上位 6 位以下の項目>

- 快適にインターネットにつながる
- 収入が着実に増える
- 夫婦が協力して家事や育児にとりくむ
- 自分の住む町の景観、町並みが美しい
- 商品等の品質等が確保されている
- 良質な医療が受けられる
- 食の安全・安心が確保されている
- 適職、やりがいのある仕事ができる
- 高齢者が住み慣れた地域で生き生きとくらせる

県民からみた重要度・充足度

- ✓ 県民の日常生活に必要な事柄 78 項目の重要度・充足度の平均得点を算出し、その関係性から県民ニーズの状態を 4 つの区分に分類しました(下図参照)。
- ✓ 重要度・充足度ともに相対的に高い区分には、上下水道のことをはじめとした 24 項目が該当しています。これらについては現在の充足度は高い状況ですが、ニーズも高いため、引き続き維持・強化が必要な項目と位置づけられます。
- ✓ 一方、相対的に重要度は高いが充足度は低い区分には収入や就労、教育に関することなど 18 項目が該当しており、県民ニーズに対する取組が求められる項目と位置づけられます。

重要度・充足度の関係 ※平均得点に基づく整理



重要度・充足度ともに高い

- 安心して家庭で水が使える
- 下水道が整備されている
- 生活に必要な施設がある
- 商品等の品質等が確保されている
- 食の安全・安心が確保されている
- 住環境が良好
- 健康診断、健康の相談が受けやすい
- 犯罪がない安心な暮らしの確保
- 良質な医療が受けられる
- 救急患者が適切な治療を受けられる
- 公園や親しめる自然などがまわりにある
- 配偶者等からの暴力の防止と被害者への支援環境の充実
- 平和を願う心が継承、発信されている
- 夫婦が協力して家事や育児にとりくむ
- 防災対策が充実している
- 健康の維持や増進に努める
- 安心して子どもを生み育てられる環境が整っている
- 適職、やりがいのある仕事ができる
- 学童保育所等が利用しやすい
- 高齢者が住み慣れた地域で生き生きとくらせる
- 廃棄物の適正処理、減量化等が活発
- 健全育成が図られる教育環境がつけられている
- こどもの権利が尊重され、社会参加の機会が増える
- 交通の安全が確保されている

※充足度が高い順

重要度は高いが充足度は低い

- 物価が安定している
- 老後に不安のない年金が得られる
- 収入が着実に増える
- 目的地まで円滑に移動できる
- 優れた能力や感性を育む教育環境の充実
- 障害者の社会参加が拡大している
- 近くで希望する仕事につける
- 公共交通機関が利用しやすい
- イライラやストレスなど精神的緊張が少ない
- 赤土流出、騒音、環境汚染などが少なくなる
- 介護サービスが充実し利用しやすい
- 公平な教育機会が確保されている
- 失業の不安がなく働ける
- 多様なニーズに対応する学び直しの機会の充実
- 必要な資質を身に付けられる教育環境
- 少年の非行や犯罪が少なくなる
- 仕事と生活が両立しやすい職場環境
- 費用の心配なく、医療を受けられる

※充足度が低い順